

ノリ養殖環境速報 KH-02-01 (播磨灘)

令和2年11月4、5日 調査
 令和2年11月6日 発行

【概況と今後の動向見込み】

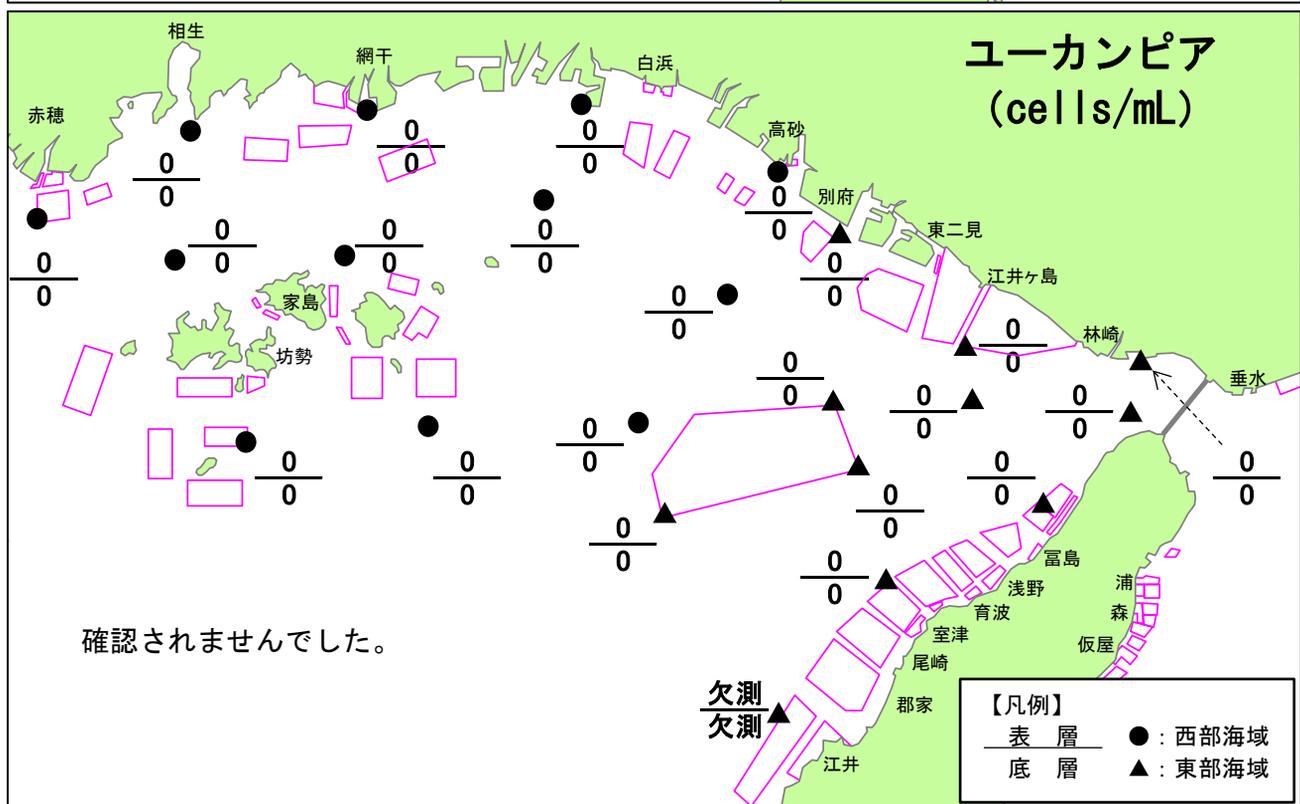
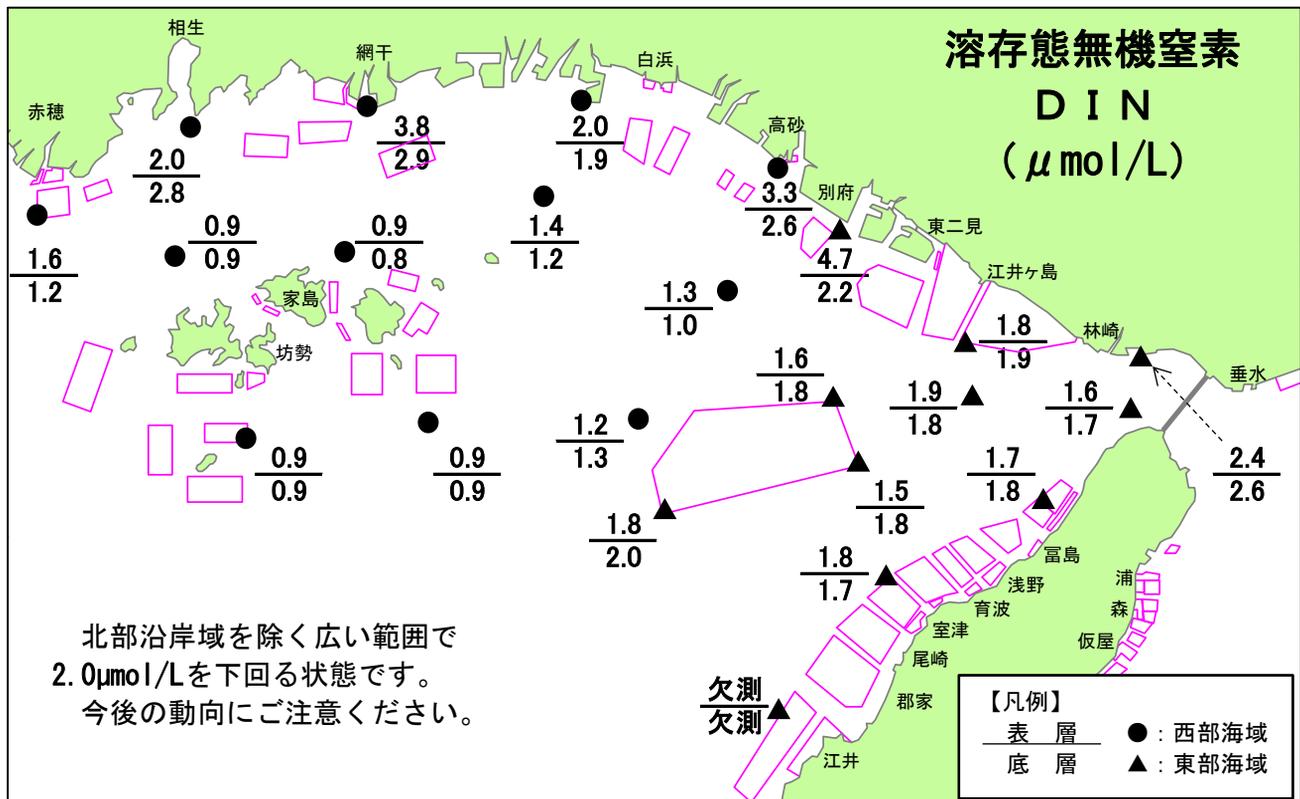
表層のDIN濃度は、北部沿岸域を除いてはかなり低い値でした。
 大型珪藻のユーカンピアは確認されませんでした。コスキノディスクスワイレシーが広い範囲で高密度に確認されました。
 大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年並みとされており、海域全体の栄養塩濃度は低い状態が続く見込みです。

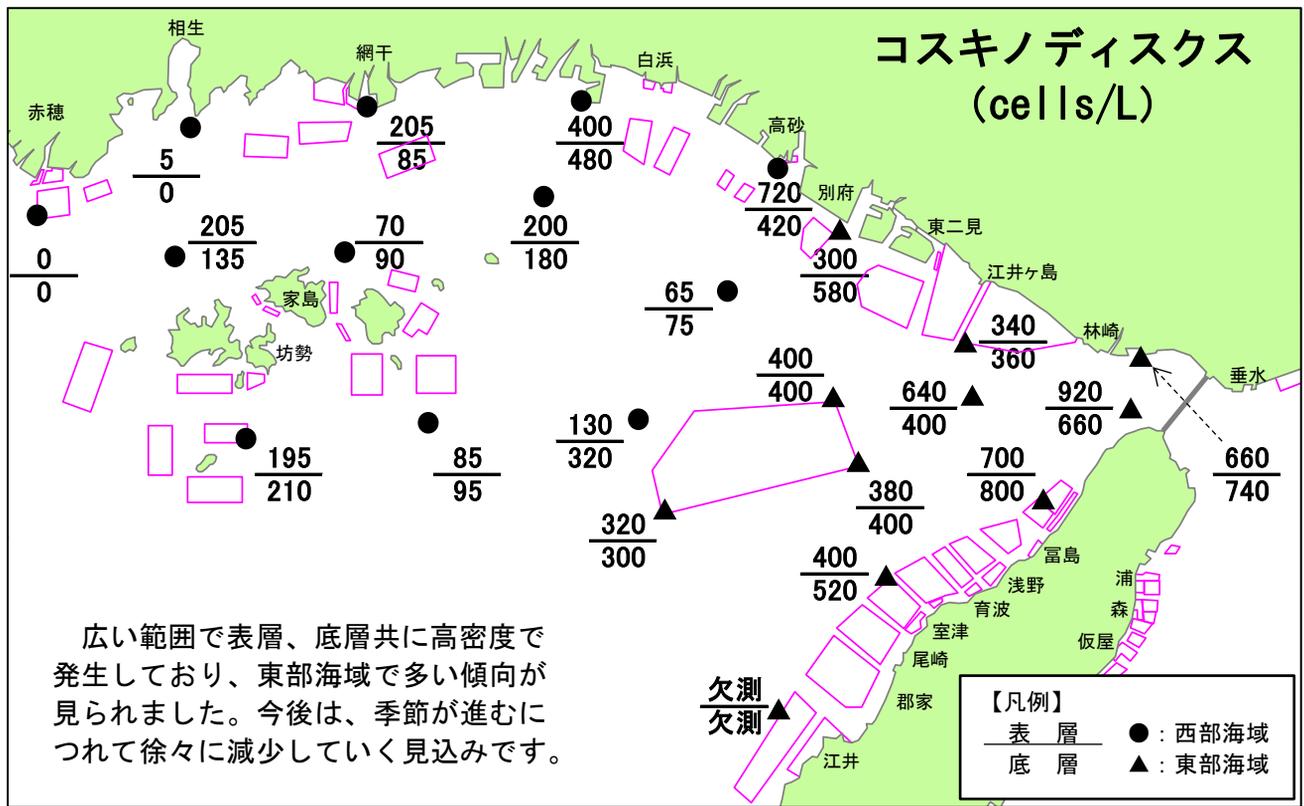
- ・兵庫県の情報: <http://www.hyogo-suigi.jp/>
- ・岡山県の情報: <https://www.pref.okayama.jp/page/579394.html>
- ・香川県の情報: <https://www.pref.kagawa.lg.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

【次回】 令和2年11月13日発行予定
 【参考】 栄養塩の単位
 $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

【表層水温(°C)】

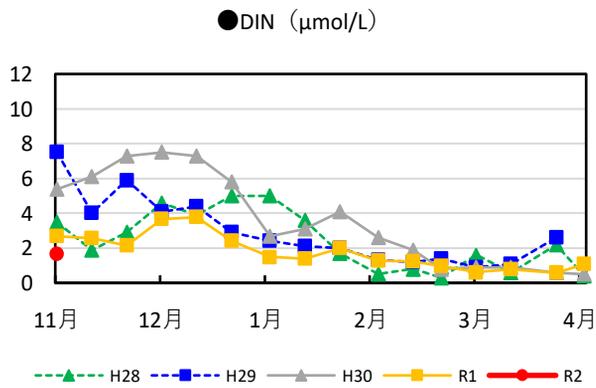
白浜以西: 19.4 ~ 20.3, 家島諸島周辺: 20.4 ~ 21.1, 江井ヶ島・高砂周辺: 19.9 ~ 20.7, 明石海峡付近・西浦: 20.6 ~ 20.9, 鹿ノ瀬周辺: 20.5 ~ 20.9



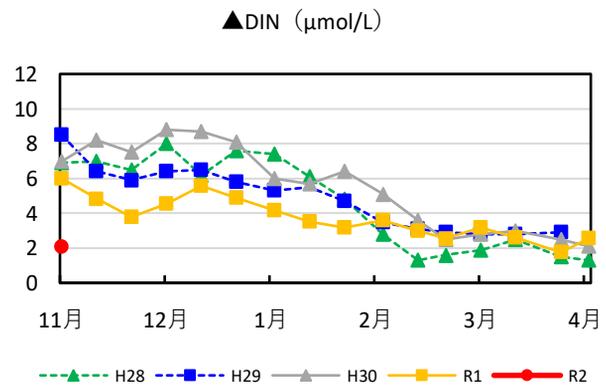


広い範囲で表層、底層共に高密度で発生しており、東部海域で多い傾向が見られました。今後は、季節が進むにつれて徐々に減少していく見込みです。

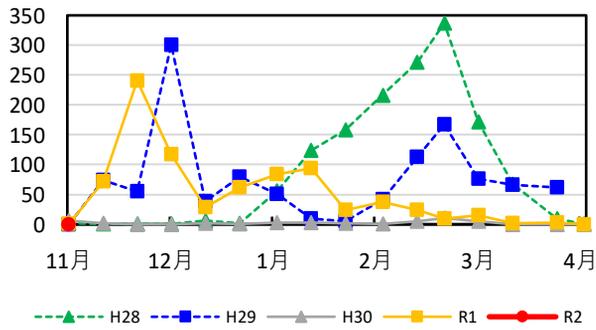
西部(●)12点 表層 平均値



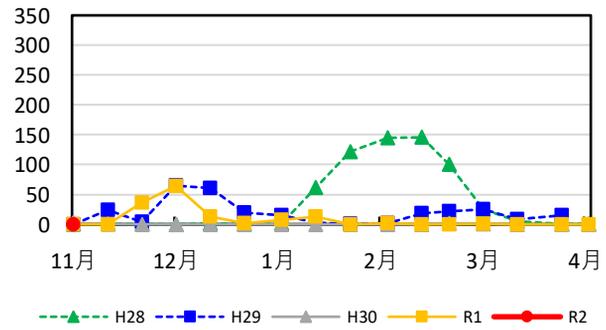
東部(▲)11点 表層 平均値



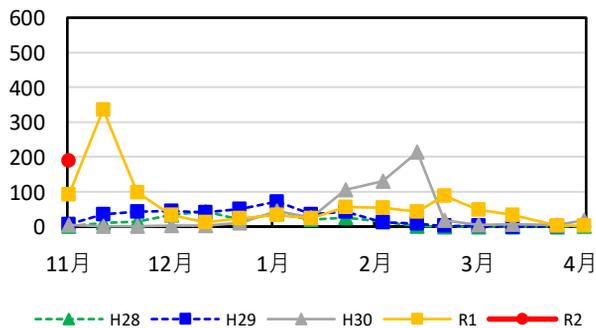
●ユーカンピア細胞密度 (cells/mL)



▲ユーカンピア細胞密度 (cells/mL)



●コスキノディスクス細胞密度 (cells/L)



▲コスキノディスクス細胞密度 (cells/L)

